# JJY Antenna for M5Atom

電波時計のための標準電波(JJY)を疑似的に送信

## 1. はじめに

このプリント基板は、疑似的な標準電波(JJY)を送信するためのアンテナです。M5Atom Lite または M5Atom Matrix 1台を取り付け、JJY 信号を疑似的に生成するプログラムを実行します。







## 2. 使用目的

標準電波が届かないところにある電波時計の時刻を合わせます。NTP で得た日付・時刻に合わせることができます。

## 3. 使用条件

- ✓ NTP サーバへの接続のため、Wifi でインターネットに常時接続する必要があります。
- ✔ 時刻合わせには 5 分以上の連続稼働が必要です。電源の常時供給が必要です。

#### 4. 使用方法

(1) M5Atom の取り付け

プリント基板上のピンヘッダに M5Atom を取り付けます。正しい取り付けを目視で確認するまでは電源オフとするのが安全です。

(2) M5Atom 用 Arduino IDE の準備

詳細は「M5Stack - Arduino IDE Development」を参照ください。

https://docs.m5stack.com/en/arduino/arduino\_development

M5Atom.h は、FastLED.h をインクルードしています。ライブラリマネージャで以下のライブラリをインストールしておく必要があります。

FastLED by Daniel Garcia

標準のライブラリ以外に、WiFiManager を使用しています。ライブラリマネージャで以下のライブラリをインストールしておく必要があります。

WiFiManager by tzapu, tablatronix

## (3) シリアルモニターの起動

疑似 JJY 信号生成中のログ情報をシリアルモニターに出力します。トラブル調査に役立ちます。ログ出力の詳細は最後に記載しています。シリアルモニターは必須ではありません。

(4) M5Atom へのプログラムの書き込み

以下から BF-018A/BF-018A.ino をダウンロードして、M5Atom に書き込みます。 https://github.com/botanicfields/BF-018A

## (5) Wifi の設定

プログラムの書き込み、リセット、または電源オンで実行を開始すると、まず Wifi 設定が動作します。Wifi 設定は WiFiManager で行います。詳細は WiFiManager の説明を参照ください。 https://github.com/tzapu/WiFiManager

#### 大まかな流れ:

- ① 前回接続したアクセスポイントに接続を試みる
- ② 接続できない場合、M5Atom 自身がアクセスポイントとなって、Wifi クライアントからの接続を待つ
  - i. スマートフォン等で、アクセスポイントとなった M5Atom に接続する ※ SSID: Chip ID に基づく名前、password/key: なし
  - ii. ブラウザで IP アドレス 192.168.4.1 を開く
  - iii. M5Atom が接続すべき SSID/key を入力する
- ③ M5Atom が指定された SSID/key で Wifi に接続する

## (6) 疑似 JIY 信号の送信

Wifi 接続後、NTP で日付・時刻の取得が完了すると、LED が点滅を開始します。プリント基板の渦巻きパターン(アンテナ)の平面を電波時計に向けて 30cm 以内のところに置きます。電波時計を操作して受信を開始すると 5 分程度かかって日付・時刻合わせが完了します。完了しない場合は、プリント基板の位置や向きを変えてみます。電波時計に内蔵されているバーアンテナの長手方向の延長線上に置くのがよいです。プリント基板が送出する磁界の方向をバーアンテナの長手方向と一致させ、プリント基板の渦巻きパターンとバーアンテナのコイルを平行にします。条件が良ければ 70cm 程度の距離でも時刻合わせができます。

## (7) LED モニター表示

JJY 信号がオンの間 LED が点灯します。ボタン A を押すと、LED モニター表示のオン・オフが切り替わります。 $M5Atom\ Matrix\ の場合、0$ 番の LED のみを使用します。

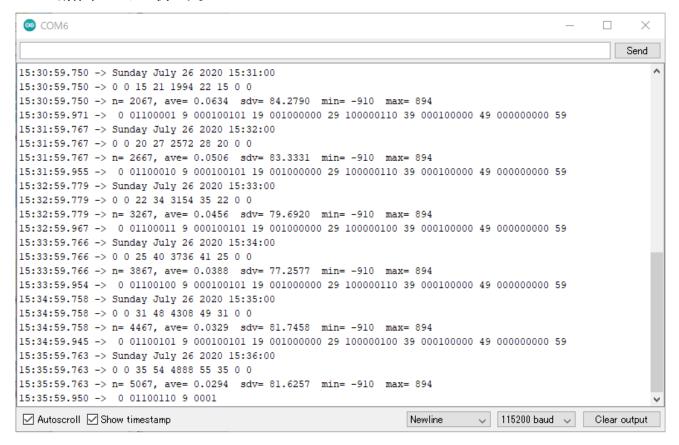
青色: 40kHz 信号の送出中を示します。

赤色: Wifi 接続が切れると点灯します。

緑色: NTP による時刻取得に失敗すると点灯します。

# (8) 動作ログ

動作中のログの例です。



#### 15:30.59.750 ->

- 現在時刻・日付
- Ticker 周期のずれの分布(出現回数): 左から

 $\sim$  -50ms, -50ms  $\sim$  -5ms, -5ms  $\sim$  -0.5ms, -0.5ms  $\sim$  -0.05ms, -0.05ms  $\sim$  0.05ms, 0.05ms  $\sim$  0.5ms, 5ms  $\sim$  50ms,

 $50 \text{ms} \sim$ 

- Ticker 周期の計測回数、平均(μs)、標準偏差(μs)、最小値(μs)、最大値(μs)

## 15:27:32.971 ->

送出した JJY 信号

最初の 0、19、29、39、49、59: マーカーマーカー以外: 0, 1

# 資料

Qiita: 標準電波 JJY もどきを M5StickC/M5Atom の Ticker で生成する

https://qiita.com/BotanicFields/items/a78c80f947388caf0d36

GitHub: botanicfields/BF-018A

https://github.com/botanicfields/BF-018A

YouTube: BF-018A: JJY Antenna for M5Atom

電波時計内のバーアンテナの長手方向の延長線上に置いた動作例: 距離 70cm

https://youtu.be/4Soobp9k9r0

## 提供元

BotanicFields, Inc.

https://www.facebook.com/botanicfields/

https://twitter.com/botanicfields

2020年10月26日

第2版 2021年5月29日「4. (2)M5Atom 用 Arduino IDE の準備」をアップデート